

優しく強い子に!



<http://www.minamih.net/>
19・3・19(火)
南NEWS no 146

新6年生むさしのA1リーグ

2019/3/16(土)文化大グランド
○めあて ・5つ観てコーチング・アーリーヒット
・クサビからの展開・スプリント

○南八王子0-2 富士見ヶ丘 前半0-0

○南八王子1-3 プリメイロス 前半1-0

得点=シュンセイ君

○南八王子0-2 西原 前半0-1

《当日の様子》

最近の対戦相手よりレベルの高いむさしのリーグ戦。初戦の相手は富士見ヶ丘。前半は相手の広いパスワークや個人技に押し寄せられ気味でしたがミツキ君を中心としたディフェンスで無失点に抑え0-0で折り返します。



後半はレオン君を起点とした攻撃を見せますが相手ディフェンスを崩せないなか、数少ない左サイドからの折り返しをシュンセイ君がシュートを放ちましたがゴール右側に外れ得点できません。ディフェンスが手薄になったところで2失点し0-2で敗戦となりました。

2戦目はプリメイロス。相手のトップに集める攻撃に上手く対応し互角の戦いを見せ、前半終了間際に左サイドで粘ったユウシン君の折り返しをトップ下に入っていたシュンセイ君がシュートを放ち一度はキーパーに防がれるも弾かれたボールを再度押し込み待望の先制点を奪いリードして後半を迎えます。

後半4分、コート中央で相手トップのマークが甘くなりシュートを放たれゴールキーパーが前目になっていたところループ気味に失点。その後は集中が切れたのか相手ゴールキックからの攻撃から簡単に2失点を許し1-3で敗戦。

3戦目は西原。この試合もコート中央では互角に戦っていますが相手を崩す決定的なチャンスが作れません。1点リードされた前半。右渡り廊下を崩したシュンセイ君が鋭く低いクロスを入れるも、合わせる事ができません。基礎技術の問題!

相手の攻撃はGkシオン君のファインプレーもあり得点を与えず拮抗した戦いを見せるも2失点を許し0-2で敗戦。

《コーチ所見》

結果は3連敗でしたがどの試合も僅差の敗戦で完全に崩された失点はほとんどありません。個々は互角に戦っていますが、サポート力に差があったと思います。

ボールホルダー以外の動きは重要で、これがチーム力を向上させます。毎回目当てにあるコーチング、声出しはまさにその一つです。

来週の次戦ではチーム全員の声が聞こえることを期待しています。

by 岡村コーチ



3年生とその卒業を祝う後輩たち

チ陣も出席して、卒業をお祝いしたのです。

1年生からの思い出のアルバム、スライドが上映され、懐かしい場面・画面に映るコメントに涙腺が緩むこともありました。

16人中、南からは4人が卒業しました。高田君・小松君・米倉君・墨田君の4人です。みんな高校に見事入学が決まりました。

6年生の時エースでキャプテンだった小松君。6年春のU-12前期リーグ、白百合戦前半。右ハーフスポットをドリブルで突破してペナに侵入して右足のシュートで先制。後半更に1点を加えて2-0の完勝!前期優勝に導いた小松君は勉強でもGAMBARI志望校に合格しています。他のみんなも同じです。

矢上はクラブを代表し、贈る言葉として、孫崎 享(元外務省国際情報局長)氏の言葉: 未来予測 (Prediction of Future) を贈りました。

『私自身に残された時間はそう長くない。原発問題にしる、国防軍の創設にしる、また憲法改正?にしても、すべて大きな影響を受けるのは若い人たちなのである。自分たちの人生が、政府によって狂わされてしまうかもしれない。だが、若者たちの危機感あまりにも薄い。』

もう一度、悲惨な原発事故が起きて自らが被害にあったり、必要な医療が実際に受けられなくなったりしない限り、我が事としては考えられないのだろうか。そのとき初めて危機が存在したことに気づいても、もはや手遅れである。

未来予測とは、目に見えるものではない。自分で考えて、初めて立ち現れる現象である。考えない人には、無縁のことであると言ってもよいであろう。そして、本書で繰り返し行ってきたように、目の前の情報を「疑う」ことがその第一歩となる。』

まとめにノーベル医学生理学賞受賞の本庶勇さんの言葉、10月2日(火)朝日・朝刊 を贈りました。

……六つのC 学びも遊びも全力…… 六つのCが時代を変える研究には必要だと、本庶さんは説く。「C」は英語表記で

- ・好奇心 (Curiosity)
- ・勇気 (Courage)
- ・挑戦 (Challenge)
- ・確信 (Confidence)
- ・集中 (Concentration)
- ・継続 (Continuation)

子どもたちに向けて、「重要なのは知りたい、不思議だと思うことを大切にすること。教科書に書いてあることを信じない。あきらめない。そういう小中学生が研究の道を志してほしい」とエールを送った。



